

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

〔1〕

●変更前

R6年度の 成果測定指標	単位	R6年度の 目標値
合葬式墓地の新規契約 (体)数	体	253

●変更後

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
一般墓地の墓じまいに対する 合葬式墓地への改葬率	%	27.2

成果測定指標の
変更(廃止)を
希望する理由

一般墓地の墓じまいにおいては、遺骨を他霊園へ改葬するケースが多い。
当霊園として、一般墓地の墓じまい後も引き続き北摂霊園を利用して欲しいという思いがあり、遺骨の改葬先として合葬式墓地の利用を促進したため、これまでの合葬式墓地の新規契約(体)数の成果測定指標は、当霊園内での契約数だけではなく、他霊園からの改葬による契約数等も含んだ総新規契約数を対象としていたが、R7年度からの成果測定指標では、大阪北摂霊園内の一般墓地の墓じまいにおける合葬式墓地への改葬のみを対象とする。
なお、改葬率は直近実績のR6年度の改葬率を維持する。

(参考)

一般墓地返還区画数(うち、合葬への改葬区画数)

令和4年度 248区画(うち、64区画)=25.8%

令和5年度 255区画(うち、65区画)=25.5%

令和6年度 305区画(うち、83区画)=27.2%

〔 〕

●変更前

R6年度の 成果測定指標	単位	R6年度の 目標値

●変更後

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値

成果測定指標の
変更(廃止)を
希望する理由

■ 令和6年度実績比 マイナス(現状維持)目標の考え方について

〔3〕

成果測定指標	単位	R6年度の実績値〔見込値〕	R7年度の目標値
市町村職員技術研修の受講者数	人	339	150

マイナス (現状維持) 目標の考え方	R6年度は、研修計画(年間で10回開催)に基づき目標値を375人の受講者数と設定した。また、能登地震の発生や南海トラフ地震注意報の発令があったことから、災害支援・対応講座を臨時開催し、合計で11回の研修を実施したものの、目標値を下回る受講者数となった。 R7年度は、技術力強化がより必要な小さな自治体ほど受講に要する時間等の制約がある実態を踏まえ、従来型の屋内研修すべてを対面形式からWeb併用形式とすることで、受講しやすい環境を整えることにより受講者数の増加を図るとともに、加えて、各地域(府民センター)に出向き、基礎自治機能充実強化に資する市町村勉強会を7回開催することにより、地域に即した課題を共有、連携して課題解決を図ることを目指すこととした。(この勉強会の実施回数を新たな成果測定指標として設定) 一方で、この勉強会を新たに実施することにより、法人としてもマンパワーに限りがあることから、実施体制や実施時期を考慮した結果、従来型の研修は、市町村からの要望の多い5項目(5回)に限定した。 受講者数については、Web併用形式で研修を実施することが初年度であるため市町村職員の受講環境が不明確であり、受講者数を正確に見込むことが困難なため、R6年度実施の屋内研修の平均受講者数(※)を上回り、かつ中期経営計画の目標値である30人/回として、150名を目標値に設定し、屋内研修を通じて市町村職員の人材育成に取り組んでいく。 ※R6年度実施の屋内研修(8回、205名)の平均受講者数：25.6人/回
--------------------------	---

〔4〕

成果測定指標	単位	R6年度の実績値〔見込値〕	R7年度の目標値
樹木葬墓地の新規契約(体)数	体	445	281

マイナス (現状維持) 目標の考え方	R6年度は、『木だち』31本、『木々の風』13本、『木もれび』37体、『森の風』143区画の新規募集を実施し、R6年度の目標値(407体)を上回る445体の新規契約(体)数となった。 R7年度の新規募集は、樹木の成長状況等により『木だち』15本、『木々の風』7本と、R6年度に比べ対象となる樹木が大幅に減少となることから、R7年度の目標値を281体とした。 (木だち1本あたりの埋蔵数の設定は、募集済である過去3年間の平均値である7体とし、木々の風1本あたりの埋蔵数は、10体として算出。 木もれびは、新規募集対象の40体に現在募集中である12体を加えた52体。天の川34体、森の風10区画20体を目標値に設定。) ⇒ R7年度目標値 = 木だち15本×7体+木々の風7本×10体+木もれび52体+天の川34体+森の風20体 = 281体
--------------------------	--